

唐津市紹介

唐津市の概要

9つの市町村が合併してできた唐津市は、佐賀県の北西部に位置し、国道202号・203号を主とした主要道が交差する交通の要衝として重要な地域です。また、棚田などの山村地区や唐津湾に面した漁村地区をはじめ、溪流のある山深い地区、7つの離島、市街地地区など多くの特色ある地域があります。

国の特別名勝に指定された「虹の松原」や「唐津くんち」などの文化・伝統が揃う、自然と歴史・文化が調和したまちです。

唐津市の特産品



唐津市の見どころ



Pick Up !

豊臣秀吉の文禄・慶長の役に際し築かれた巨大な城、名護屋城。名護屋城跡と23か所の陣跡が国の特別史跡に指定されています。名護屋城博物館では、秀吉が名護屋に持ち込ませ、実際に使ったとされる「黄金の茶室」を復元し、令和4年3月27日から公開しています。

▲肥前名護屋城跡

▲「黄金の茶室」(名護屋城博物館) ※写真提供:佐賀県



唐津くんち

唐津くんちは毎年11月2～4日に開催される唐津神社の秋季例大祭で、唐津最大の行事です。平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録されています。



唐津城

唐津城は、豊臣秀吉の家臣・寺沢志摩守広高が慶長7年(1602年)から7ヶ年の歳月を費やして完成したと伝えられています。現在の天守閣は昭和41年に完成したものです。



旧唐津銀行

佐賀県指定重要文化財の旧唐津銀行は、東京駅丸の内駅舎や日本銀行の設計を手掛けた唐津市出身の辰野金吾監修のもと、その弟子・田中実設計により明治45年(1912年)に竣工しました。



虹の松原

虹の松原は、唐津藩初代藩主・寺沢志摩守広高が防風・防潮林として植林したのが始まりで、全長約4.5km、幅約500mに渡り続く松は約100万本と言われています。国の特別名勝に指定されています。



鏡山

鏡山は唐津市東部に位置し、山頂の展望台からは虹の松原や唐津市街地及び唐津湾を一望できます。山頂にある鏡山神社は、神功皇后が朝鮮半島出兵の際、戦勝祈願をしたと云われている地に建てられたものです。



旧高取邸

国指定重要文化財である旧高取邸は、木造(明治後期頃築造)で杵島炭鉱の経営者として知られる「高取伊好(これよし)」の邸宅です。邸内に能舞台を配すなど和風を基調としながらも洋館も併設されています。

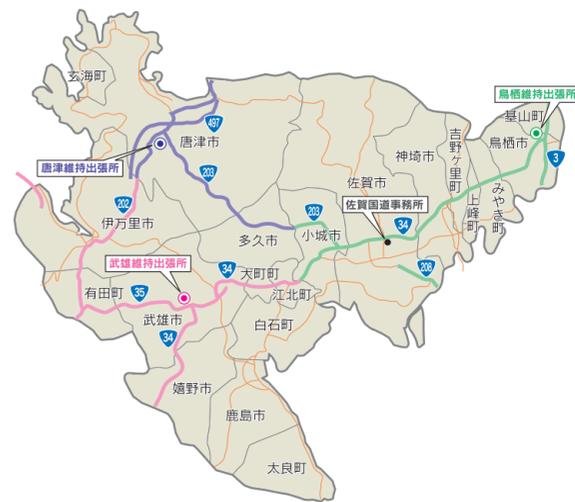
事務所案内

国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

〒849-0924 佐賀市新中町5番10号
TEL 0952(32)1151 FAX 0952(33)0583



出張所別管理区分



唐津維持出張所

〒847-0002 唐津市山本字中園1437
TEL 0955(78)0058 FAX 0955(78)1529



武雄維持出張所

〒843-0022 武雄市武雄町武雄82
TEL 0954(23)3206 FAX 0954(23)1697



鳥栖維持出張所

〒841-0012 鳥栖市田代昌町492
TEL 0942(83)2505 FAX 0942(83)2524



佐賀国道シンボルマーク

Webで 検索

✉ qsr-sakoku@mlit.go.jp

佐賀国道事務所 Twitter
https://twitter.com/mlit_Sakoku

このパンフレットは、再生紙を使用しています。
QRコードは(株)デンソーウェブ登録商標です。

最新の情報を発信しています!

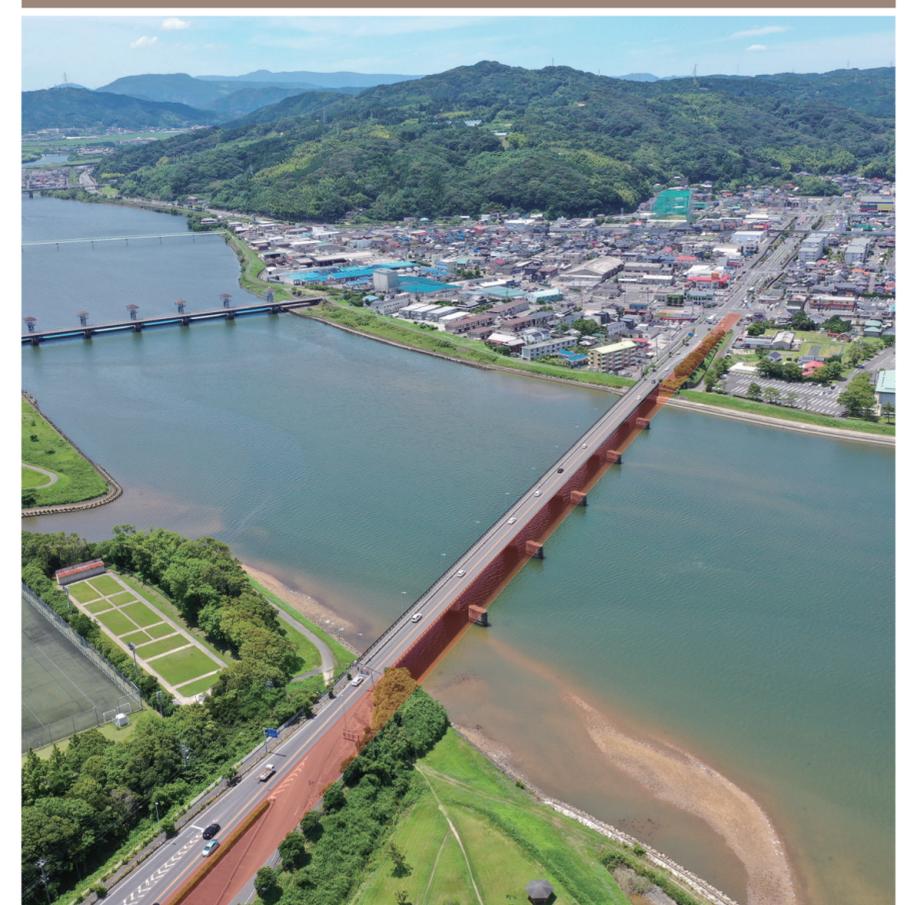
2022.4

21世紀を拓く道をめざして

国道202号

唐津バイパス

KARATSU



国土交通省 九州地方整備局
佐賀国道事務所



事業の目的

- 国道202号唐津バイパスは、佐賀県の唐津市に位置し、交通環境（渋滞・事故）の改善を目的とする道路。
- 唐津バイパスの4車線化整備により、交通渋滞の改善、道路利用者の安全性向上が図られ、幹線道路の容量拡大・速達性向上により、周辺生活道路への通過交通流入を抑制し、通学路指定区間の安全を確保する。
- 並行する県道虹の松原線の通行規制時における代替路としての機能向上により、沿線地域の日常生活を支援する。

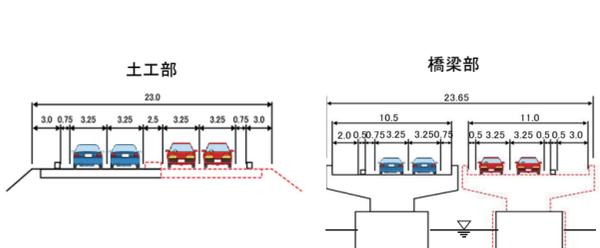
事業の経緯

昭和44年度	事業化
昭和45年度	用地着手
昭和46年度	工事着手
昭和51年度	完成供用（4車線） 延長0.9km
昭和54年度	完成供用（4車線） 延長0.4km、0.9km
昭和58年度	完成供用（4車線） 延長1.45km、0.65km
昭和62年度	完成供用（4車線） 延長4.95km
昭和63年度	一旦停止
令和4年度	新規事業採択

道路の諸元

名称	唐津バイパス(国道202号)
区間	唐津市鏡 ~ 唐津市和多田大土井
延長	1.3km
幅員	23.0m
道路規格	第4種第1級
設計速度	60km/h
車線数	4車線

標準断面図



整備効果

- 効果1 幹線道路の速達性向上
 - ・片側2車線の交通容量を確保し、国道202号の速度向上。
 - ・国道202号の速度向上により、生活道路への流入を抑制し、通勤・通学の安全を確保。
- 効果2 幹線道路の安全性確保
 - ・渋滞ボトルネックの解消により、急ブレーキの多発に伴う交通事故の減少。
- 効果3 沿線地域の日常生活の支援
 - ・幹線道路の容量拡大、速度向上を図り代替道路としての機能向上、信頼性の高い道路ネットワークを確保することで、沿線地域の日常生活を支援。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の3万の地形図を複製したものである（承認番号：国地情報、第590号）」
 また、本資料を第三者が複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。
 人口：佐賀県の人口推計（令和3年12月1日時点）